



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年9月11日(木) 木の香るみちづくり 秋田自動車道・秋の植栽 編

気温は高いながらも薄曇りと、外仕事には幾分優しい天気となったこの日、春に植栽した鉢*の植え替えを行ないました。NEXCO 東日本秋田管理事務所からは栗城さんと3人の方が、(株)花まりさんからは代表の中川さんとスタッフの方お1人が参加して下さいました。

いつものように秋田自動車道上りの八郎湖サービスエリア(以下、SA)を午前10時にスタート。酷暑で枯れてしまった株は、栗城さんが予め抜いて片付けて下さっていたので、作業が手早く進み、お昼休憩を取らずに上下線の太平山パーキングエリア(以下、PA)、下りの八郎湖 SA を回った結果、13時半には作業を終えることができました。

秋の植え替えは毎年9月の敬老の日前までに、夏に弱った株を抜き、11月の末頃まで、気温が下がってもきれいな姿を楽しめる花苗を選んで植えています。また、下に伸びて下がるグリーンと、高さのある花で見た目の変化を楽しめる工夫もしています。

清掃班はホースで水をかけながら、ハニカムプランター内外の泥や枯れ葉などを洗い流していきます。修理と再塗装によって通気性や水抜き性、防虫性があがったのか、今回はたくさんのナメクジやワラジムシが見当たりませんでした。

植え替え班は、暖かみのある秋色の苗-紫トウガラシ、ケイトウ、アルテルナンテラや背の高いモフモフしたセロシアと、酷暑を生き延びたアイビーやシロタエギクを組み合わせで植えなおしていきます。夏を越して伸びきっているものは切り戻し、この先の成長と開花のために肥料を根元にまきました。

まだ残暑が厳しく、冬到来に実感はわきませんが、降雪までの2ヶ月半、きれいに咲き続けてくれると良いですね。

文： 渡辺 千明

* 令和7年4月14日の活動レポート参照



清掃班2人は腐食の原因にもなる地面の汚れも洗い流します(上)。酷暑で無残な姿となった植物たちには「良く頑張ったね」と声をかけてしまいます(中)。植替え班は一鉢に2~3個の花苗を植えていきます(下)。



壁面(上)と通路側(下)では多少組み合わせを変えて秋らしさを演出しました。